

Neo Instruments
VENTILATOR II

ロータリーキャビネットシミュレーター

日本語マニュアル

このたびは、Neo Instruments VENTIRATOR IIをお買い上げいただきましてありがとうございます。ぜひ、この製品をご活用になり、お客様のミュージックパフォーマンスがより豊かになることを願っております。

■VENTIRATOR IIの製品概要

スピーカー自体を回転させることで生じるドップラー効果によるビブラートはいわゆるオルガンサウンドの最大の特徴であり、多くのオルガンプレイヤーのライブやレコーディングで耳にすることができます。1940年代に米国のLeslie社が開発した「レスリースピーカー」はその代名詞ともいえます。しかしスピーカーの筐体は大きく、持ち運びには不便です。またメンテナンスも必要です。そこでドイツのNeo Instruments社がLeslie 122のビブラート、回転音、回転速度切替え時の変化、真空管アンプのオーバードライブ、箱鳴りなどを徹底的に研究してエフェクトペダル化したのがVENTILATOR(初代)でした。今回の新モデルVENTILATOR IIでは、初代モデルに対するユーザーからのフィードバックを基により使いやすく、高機能になっています。

■VENTIRATOR IIの主な特長

- ロータリースピーカー、Leslie 122を完全再現
- 低音部と高音部のローターを個別にエミュレート(実機の機械的な動作を再現)
- スピーカーシミュレーション機能は、Leslie 122の周波数特性をエミュレート
- 実機と同様の800Hzでのクロスオーバー
- 回転速度とアクセラレーション(回転速度の変移)も調整可能
- DriveセクションはLeslie社のチューブアンプの歪み具合をシミュレート
- バーチャルなマイク位置も設定可能
- リレー素子によるトゥルーバイパス
- ギターアンプで使いやすいようにアンプシミュレーションのオフ可能
- リモートフットスイッチ/ハーフムーンスイッチ/エクスプレッションペダル用端子を装備
- 質感のあるメタルシャーシとフットスイッチ操作時に干渉しない位置に配置したノブ
- シンプルで直感的なアナログ的操作

◎接続端子とセッティング

VENTIRATOR II はステレオ入力をステレオ出力を装備しています。LO/HI 切り替えで接続するソースに合わせて、入力ゲインを調整できます。楽器とアンプの間に VENTIRATOR II を接続したり、またはミキサーやエフェクトループに接続したりできます。

IN L、IN R/MONO

この端子にはステレオ出力のオルガンやキーボード、またギターなどを接続します。しかしロータリーエフェクトのみを使う場合は、IN R/MONO 端子だけを使います。バイパス状態のときは、入力端子の信号はそのまま出力端子へ送られます。

LO/HI

このスイッチで入力ゲインを切り替えます。ほとんどのオルガン、キーボード、またギターの場合は LO で対応します。特に出力レベルの低い楽器の場合は、HI にしてください。なおどちらの設定の場合も、出力レベルは変わりません。Overload LED がレベルメーターとして動作します。

Overload LED

この LED は入力、または出力レベルを表示します。S/N 比や AD 変換のレゾリューションを考えると、少しずつ入力信号レベルを LED が点灯する程度まで上げて、それから少し低くするのが良いでしょう。

OUT L、OUT R/MONO

エフェクト効果を最大限に得るために、ステレオ出力でミキサーに接続する場合は、各チャンネルのパンは左右に振るようになしてください。例えばミキサーで定位を細かく設定するとか、ステージモニター、あるいはギターアンプに接続するような場合は、R/MONO のみに接続してください。

REMOTE

別売りオプションの VENTILATOR REMOTE/VENTILATOR II REMOTE フットスイッチや Hammond CU-1 タイプのハーフムーンスイッチを接続します。また Yamaha FC-7 タイプのエクスプレッションペダルも接続できます。

12V DC

付属の AC アダプター(12V DC/0.5A)を接続します。なお乾電池では動作しません。

※必ず AC アダプターを接続する前に、オーディオ信号系の接続をしてください。

◎コントロール

VENTILATOR IIはデジタル機器ですが、その操作はアナログエフェクト同様に簡単です。基本設定は以下のとおりです。

- HI/LO スイッチを LO に設定 (スイッチが出っ張った状態)
 - FAST SPEED、BALANCE、MIX/DIST LO、MIX/DIST HI、SLOW SPEED、ACCELERATION、LEVEL の各ノブを12時の位置に設定
 - DRIVE ノブを左に回しきってください (オフ)
 - MODE パラメーターをオルガンの場合は KEY (右に回しきった状態) に、ギターの場合は GIT2 (12時の位置) にしてください
 - REMOTE の設定はオフ (右に回しきった状態)
- 下段のパラメーター (セカンダリーファンクション) へは、BYPASS と SLOW/FAST スイッチを同時に押すことで切り替わります。

◎スイッチと LED

BYPASS

このフットスイッチでロータリーエフェクトのオン/オフを切り替えます。すぐ上にある赤い ON LED がエフェクトがオンになっているときに点灯します。バイパス状態のときは入力信号はトゥルーバイパス回路を通して出力されます。

SLOW/FAST

このフットスイッチでロータリーエフェクトのスピードを切り替えます。初期状態ではベースローター (低音域) とトレブルローター (= ホーン、高音域) は、微妙に異なるスピードで同期しています。アクセラレーションタイム (低速回転から高速回転、または高速回転から低速回転に速度が変化する時間) も異なります。なぜなら低音域のローターは、速度変化に時間がかかるからです。

STOP

このフットスイッチでローターの回転が停止します。必ず正面位置での停止です。

SPEED LO/HI

各 LED がそれぞれのローターの回転速度を表します。LO (黄) がベースローター、HI (赤) がトレブルローターです。

◎パラメーターノブ

VENTILATOR II には5つのノブが装備されています。各ノブには2つのファンクションが割当てられています。プライマリーモードのときはオレンジ色で囲まれたパラメーターに対応し、セカンダリーモードの時にはその下の白文字で書かれたパラメーターに対応します。セカンダリーファンクションへは、BYPASS と SLOW/FAST スイッチを同時に押すことで切り替わります。

セカンダリーモードのときは、2つの SPEED LED が1秒間に2回点滅します。このモードのときにも各フットスイッチは動作します。

プライマリーモードに戻るには、再び BYPASS と SLOW/FAST スイッチを同時に押します。セカンダリーモードで設定したパラメーターはメモリーされ、次回電源を入れた際にも再現されます。

●プライマリーモードでのノブ

FAST SPEED

このノブで FAST モードに於けるベースローターとトレブルローター(ホーン)の回転速度を設定します。左に回すと低速回転、右に回すと高速回転となります。

ベースローター:2.6 Hz – 7.8 Hz (6.5 Hz)

ホーン:2.72 Hz – 8.16 Hz (6.8 Hz)

※2時の位置が上記カッコ内に記された速度となり、Leslie 122の平均的な回転速度です。

BALANCE

このノブで ベースローターとトレブルローターのスピーカーからの音量バランスを設定します。いわば EQ 的にも使用でき、接続する楽器の種類や実際に鳴らす再生システムに合わせて調整してください。12時の位置から右に回すと低音域がカットされていき、逆に左に回すと高音域がカットされていきます。

DRIVE

このノブで VENTILATOR II に装備されたチューブシミュレーター回路をコントロールします。正しくドライブさせるには、まず入力レベルを適正にすることが重要です。先に説明したように、Overload LED の項目を確認してください。接続した楽器の音量を最大にして、DRIVE ノブを右に回しきると最大の歪みを得られます。楽器のボリュームペダルやノブを操作することで歪み具合も変わり、クリーンから歪みのサウンドを音楽的に調整できます。なおこの回路は出力を自動調節するので、DRIVE ノブを上げていっても出力レベルは一定です。

MIX/DIST LO

このノブで低音域のローターへ送られる信号のミックス量とローターからの(擬似的な)マイクの距離を設定します。12時より左側でミックス量を設定します。例えば7時の位置(左に回しきった状態)で、ベースローターのシミュレーションがない状態です。ただし注意してほしいのは、信号の低音域がなくなるということではなくて、ローターエフェクト成分がなくなるということです。これを使えばいわゆるクラシックな、“メンフィススタイル”レズリーサウンドを再現できます。実際の“メンフィススタイル”ではベースローターのモーターを外して、トレブルローターのみを回転させて鳴らしていました。

12時より右側で低音域のローターから(擬似的な)マイクロフォンの距離を設定します。ノブの位置で音量の変化量が変わってきます。マイクをローターから離していくと“ワブワブ”サウンド効果が出てきます。これは特にオルガンでの左手のパートやベースペダルでの演奏に効果的です。

MIX/DIST HI

このノブは MIX/DIST LO と同じように、高音域のローターへ送られる信号のミックス量とローターからの(擬似的な)マイクの距離を設定します。12時より左側でミックス量を設定します。7時の位置(左に回しきった状態)で、トレブルローターのシミュレーションがない状態です。入力信号がそのまま出力されるわけです(両方の端子を使っていればステレオを保ったまま)。

12時より右側で高音域のローターから(擬似的な)マイクロフォンの距離を設定します。

●セカンダリーモードでのノブ

SLOW SPEED

このノブで **SLOW** モードに於けるベースローターとトレブルローター(ホーン)の回転速度を設定します。左に回すと低速回転、右に回すと高速回転となります。

ベースローター:0.12 Hz – 2.51 Hz (0.76 Hz)

ホーン:0.13 Hz – 2.62 Hz (0.8 Hz)

※10時の位置で上記カッコ内に記された速度となり、Leslie 122の平均的な回転速度です。

ACCELERATION

このノブで両方のローターが、低速回転から高速回転(アクセラレーション)へ、もしくは高速回転から低速回転(デセレーション)へ変移する際の時間を設定します。ノブを最も左に回しきった状態で、アクセラレーションもデセレーションも最も速くなります。ノブを動かすとこの時間が変化するのわかります。

SLOW → FAST

ベースローター:0.5 sec – 4.2 sec – 8 sec – 8 sec (5.5 sec)

ホーン:0.5 sec – 0.5 sec – 2 sec – 8 sec (1 sec)

FAST → SLOW

ベースローター:0.8 sec – 4.2 sec – 8 sec – 8 sec (5.5 sec)

ホーン:0.8 sec – 0.8 sec – 3.2 sec – 8 sec (1.6 sec)

※1時の位置で上記カッコ内に記された速度となり、Leslie 122の平均的な回転速度です。

MODE

VENTILATOR IIは3種類の周波数特性を持ち、ギターやオルガンなどの楽器に合わせて選択できます。このノブが7時、12時、5時の各位置で変化します。

- ・7時の位置 = **GIT1**モード:ギターアンプで鳴らす場合の標準的なモード
- ・12時の位置 = **GIT2**モード:**GIT1**と類似で中音域と高音域が持ち上がっているモード
- ・5時の位置 = **KEY**モード:オルガンで使う場合に **Leslie 122**を完全再現

※スピーカー、アンプ、また音の好みによっては **GIT** モードでもオルガンで使っても面白い効果が得られるでしょうし、**KEY** モードでギターアンプを鳴らすのもお試しください。

REMOTE

このノブで、リアパネルにある **REMOTE** 端子の動作を設定します。この端子にはエクスプレッションペダル(Yamaha FC-7など)、パッシブのリモートスイッチ(アンラッチタイプ)、また **VENTIRATOR REMOTE/VENTIRATOR REMOTE II**、さらには **CU-1**ハーフムーンスイッチなどを接続できます。

このノブが7時、9時、12時、3時、5時の各位置で変化します。

・7時の位置 = **Switch1**モード:Stop/Slow/Fast を外部のアンラッチスイッチ (**VENTIRATOR REMOTE II**) でコントロール (Ring = Slow/Fast。Tip = Stop) します。

・9時の位置 = **Switch2**モード:Stop/Slow/Fast を外部のラッチスイッチ (**VENTIRATOR REMOTE** や **CU-1**) でコントロールします。

・12時の位置 = **Speed** モード:外部エクスプレッションペダルでスピードを連続可変。可変幅は **SLOW SPEED** ノブ(ペダル最小値)と **FAST SPEED** ノブ(ペダル最大値)となります。**SLOW SPEED** がゼロならば、ペダルの最小値で回転が停止します。この設定の時には、本体の

SLOW/FASTとSTOPスイッチは動作しません。

・3時の位置 = Mix モード:MIX/DIST LOとMIX/DIST HIのパラメーターを外部エクスペディションペダルでコントロールします。設定範囲はゼロからMIX/DISTノブで設定した値です。

・5時の位置 = Off モード:リモート機能のオフ。

LEVEL

VENTILATOR IIの最終的な出力レベルを設定します。12時の位置で、だいたいバイパス信号と同じくらいの音量です。

◎スイッチのモード

電源投入時にSLOW/FASTスイッチを3秒間押し続けると、VENTILATOR IIはエディットルーティングに入り、STOPとSLOW/FASTスイッチの動作を設定できます。以下のように6つのモードがあり、STOPスイッチを押す(順番にモード番号が小さくなる)かSLOW/FASTスイッチを押す(順番にモード番号が大きくなる)ことで選択します。

LO LEDが1秒間に1回点滅、HI LEDはオフ:モード1

LO LEDが1秒間に2回点滅、HI LEDはオフ:モード2

LO LEDが1秒間に3回点滅、HI LEDはオフ:モード3

HI LEDが1秒間に1回点滅、LO LEDはオフ:モード4

HI LEDが1秒間に2回点滅、LO LEDはオフ:モード5

HI LEDが1秒間に3回点滅、LO LEDはオフ:モード6

STOPとSLOW/FASTスイッチを同時に2秒間押すことで設定が保存され、エディットルーティングが解除されます。REMOTEパラメーターでSwitch1モードが選ばれている場合、ここでの設定が外部スイッチにも反映されます。

モード1(122スタイル):

両方のスイッチがラッチタイプ(1回押すとスピードが変化、もう1度押すと元に戻る)で動作。FASTのスピードのときはSTOPスイッチは効きません。SLOWからSTOPはできます。STOP状態からSLOW/FASTスイッチが押された場合、常にFASTが選択されます。

モード2(760スタイル):

両方のスイッチがラッチタイプで動作。SLOW/FASTスイッチがどのような状態でもSTOPスイッチが動作。ただしSLOW/FASTスイッチの状態は生きていて、STOPボタンを押して状態を解除すると元のスピードで動作します。

モード3:

両方のスイッチがラッチタイプで動作。SLOW/FASTスイッチがどのような状態でもSTOPスイッチが動作。STOP状態からSLOW/FASTスイッチが押された場合、常にSLOWが選択されます。

モード4:

両方のスイッチがモーメンタリー(アンラッチ)タイプ(押し続ける必要あり)で動作。例えばSTOPスイッチを押すと、スイッチを放すまで停止状態になります。SLOW/FASTスイッチの初期状態はSLOWで、SLOW/FASTスイッチを押すと、スイッチを放すまでFAST状態になります。

モード5:

モード1に似ているが、SLOW/FASTスイッチのみモーメンタリー(アンラッチ)タイプとして動作。STOPスイッチはラッチタイプ。STOPスイッチがどのような状態でも、FASTのスピードになります。

モード6:

モード2に似ているが、STOPスイッチのみモーメンタリー(アンラッチ)タイプとして動作。SLOW/FASTスイッチはラッチタイプ。SLOW/FASTスイッチの状態は生きていて、STOPボタンを

押して状態を解除すると元のスピードで動作します。

■VENTILATOR II の主な仕様

- 信号処理:32-bit SHARC DSP
- AD変換:48kHz/24-bit
- DA変換:48kHz/24-bit
- ノイズレベル:-80 dBA
- 入力感度:-10 dBV (Hi)/0 dBV (Lo)
- 入力インピーダンス:1M Ω
- 出力レベル:+6 dBV
- 出力インピーダンス:100 Ω
- 推奨負荷インピーダンス:10k Ω 以上
- スイッチ:Bypass、Slow/Fast、Stop、入力ゲインセレクト
- パラメーター:Fast Speed、Slow Speed、Balance、Acceleration、Drive、Mode (Git1/Git2/Key)、Mix/Distance Lo、Mix/Distance Hi、Level、Remote select (Switch/Pedal Speed/Pedal Mix)
- 接続端子:In L、In R/Mono、Out L、Out R/Mono、Remote、12V DC
- 電源:12VDC/500mA 仕様 ACアダプター付属(電池駆動非対応)
- 消費電流:300mA 以下
- 外形寸法:160 x 143 x 55 mm (W x D x H)
- 重量:1.1kg

作成:株式会社フックアップ